

ビジネスシーンで活用されるパートナープログラム

ソフトウェアテストや品質管理を委託する場合の選定に使われています

システム開発、ソフトウェアテスト、品質コンサルティング等を専門企業に依頼するシーンにおいて、一定水準以上の専門エンジニアが開発業務に参加することを求めて、ISTQBの資格保有者の在籍を確認したり、依頼する業務への資格保有社のアサインを指定するケースが多く見られます。

このようなビジネスシーンにおいて、パートナープログラムは世界標準のソフトウェアテスト技術者（ISTQB資格保有者）を有していることを証明します。

近年はパートナープログラムに参加する企業は70社以上と多くなってきており、特にソフトウェアテストや品質管理を専門に行う会社のほとんどがパートナープログラムに参加しており、パートナープログラムに参加することが、専門企業としての標準になりつつあります。

一例ですが、日本のビジネスを獲得するために海外のソフトウェアテスト会社がJSTQBのパートナープログラムに参加している事例もあります。

つまり、日本においてソフトウェアテストや品質管理の業界でビジネスを行う企業は、ISTQBの認定技術者を保持し、パートナープログラムに参加していることがデファクト・スタンダードとなっています。

パートナープログラムは技術力を表しています

プログラムの参加には、ISTQB資格保有者を育成する必要があります

パートナープログラムに参加する企業では、社内の昇給制度や役職者の条件にISTQBの資格取得を組み入れ、人材育成に取り組んでいます。

技術者にとっては資格を取得すると昇給できるシステムであり、企業にとっては資格保有者が増えることでより高いパートナーシップレベルを取得することができ、両者にメリットが生じる仕組みとなっています。

資格レベル	ポイント	パートナーレベル	ポイント	付帯内容
Foundation	1	Silver	5	無し
Advanced	3	Gold	14	1名のAdvanced Level認定者が在籍
Expert	5	Platinum	30	3名のAdvanced Level認定者が在籍
		Global	-	ISTQB加盟国でGold2つ以上+Platinum1つ以上

各社では資格制度に社内基準でなくパブリックな基準を採用することで、転職者を採用する際にも利用でき、より多くの専門的な技術者を社内に取り込んでいます。

またJSTQBの資格は、日本政府のIT国家戦略の中で定義されているIT技術者が獲得すべき資格（※1）に含まれており、日本政府が認めている資格となっています。

※1：IPAによるITスキル標準（ITSS）のキャリアフレームワークと認定試験・資格にJSTQBの資格が含まれています。